

自然保育活動 活動報告書

学校法人藤本学園 河戸こども園

活動について

- ・年間を通して2か所の畑で野菜を栽培し、収穫した野菜を月に1度設定している白ご飯の日に園内で調理して喫食しました。
- ・隣接の寺の境内・2か所の畑を自然フィールドとして活動しており、樹木につく虫やフィールド内に生息している生き物の観察、落ち葉や花を使っての製作や遊びを体験しました。
- ・園隣接地を新たに園庭として整備しました。園庭のため自然フィールドではありませんが、園庭の真ん中に1本残してもらった柿の木に季節の移ろいを感じ、恵みを喜び、落ち葉拾いの楽しさを味わいました。

環境構成について

- ・近隣の方のご厚意で休耕地を借りて施肥を行い、年間を通じて畑作りを行っていますが、今年度から新たな作物（アスパラ）用に耕作地を拡大しました。
- ・畑周りの草地での活動のために、子供たちの背丈を超える草を刈り、石積みや用路の安全確認を行い、鹿や狸、穴熊等の獣害対策のネットを設置しました。
- ・稲づくりのためのプランターを準備し、園庭の隅に設置しました。

印象的だった事例について

隣のお寺から畑を通して園までの道のりは秘密の通路がたくさんあって、こどもたちのドキドキゾーンです。歓声の先には季節の植物や虫や蜘蛛の巣との出会いがたくさんあります。



ナメクジみいーけっ！



秘密の通路たのしい！



いいにおい！！



この虫なあーに？



ミミズでっかいよ！

今年も園庭でお米作りに挑戦しました。

土づくり、苗づくり、田植え・案山子作り・稲刈り・脱穀・粃摺りと、たくさん
の手順を得て普段食べている米ができるまでを体験しました。

でも今年は様子が違います。お米が実るころに稲が枯れ始めました。色々調べて
手立てをしましたが、例年通りには収穫できませんでした。



代掻きもみんなで頑張って、芽出しをした粃も丁寧にまきました。



枯れ始めた稲に年長さんは気が気ではありません。早めに刈り取って、天日干し・脱穀・精米、
例年の3分の1しか収穫できませんでした。
子どもたちだけでなく先生も、自然の厳しさを感じ、作物栽培の難しさを知りました。



今年はなすびとすいかを植えた年長さん。
畑で苗の絵をかきます。



スイカもなすびも豊作でした。



今年も栽培カレンダーをみんなで作りました。
 おなじみの野菜は豊作で、収穫を喜び
 沢山白ご飯の日に頂きました。
 アスパラも細い芽が出て、来年は収穫
 できそうです。



—大きさ比べ・味比べ・浮力の実験・野菜スタンプ—
 自分たちの育てた野菜でいろいろな体験をしました。

—拾った落ち葉でこすりだし・集めた木の实や落ち葉で製作—
 宝物がいっぱいの自然フィールドで子どもたちは1年を通じて
 自然の恵みを体感しています。

